西武鉄道 NEWS RELEASE

２０２６年4月２１日

１００００系「ニューレッドアロー」が新宿線の新たな「観光特急」へ生まれ変わります

～世界的なメカニックデザイナー・大河原邦男氏が初の鉄道車両デザイン監修～

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：小川 周一郎）は、現在新宿線で運行している**１００００系「ニューレッドアロー」１編成をリニューアルし、西武新宿と本川越を結ぶ新たな観光特急として、２０２８年度より運行を開始します。**

１００００系「ニューレッドアロー」は、西武鉄道初の特急車両である５０００系「レッドアロー」（１９６９年デビュー）の後継車両として登場し、１９９３年より新宿線の特急『小江戸』として運行を開始したしました。同車両は、２０２７年春のトキイロの定期運行開始に合わせて、現在の定期運行を終了しますが、その後１編成にリニューアル工事を施し、２０２８年度より新宿線を走る「観光特急」として運用を開始します。

車両デザインは、アニメ『機動戦士ガンダム』などのメカニックデザインで世界的に知られる大河原 邦男氏が監修します。洗練された機能美の中に「温かみ」や「親しみやすさ」を感じさせる大河原氏のデザインが、連続立体交差事業等によって進化し続ける新宿線の新たなシンボルにふさわしいと考え、車両デザインの監修に至りました。大河原氏が鉄道車両の外装・内装デザインを一貫して手掛けるのは、今回が初めてとなります。

車内は現在の通勤型特急車両から生まれ変わり、一般席に加えて**半個室やソファ席を備えた特別感のある客室空間**とします。また**バーカウンターを新設し軽食・ドリンクの提供**を行います。

大河原氏ならではの独創的でアイコニックなデザインと、特別感のある客室空間を融合させ、ゆったりと移動そのものを楽しめる列車を提供いたします。

車両名称やサービス等の詳細につきましては、決定次第改めてお知らせします。



大河原氏直筆のイメージ図

【別紙】

新宿線観光特急について

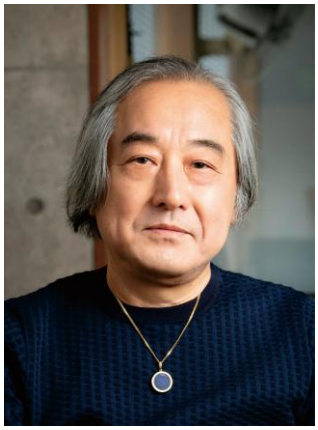
１．概要

■運行開始時期　　２０２８年度（予定）
■運行区間　　西武新宿～本川越駅間など
■使用車両　　１０００００系　１０１１２編成※
■編成車両数　　１編成７両
■デザイナー　　大河原 邦男氏（有限会社オフィス・ケイ）

※本車両にはVVVFインバータ制御を搭載した環境負荷の少ない１０００００系をリニューアルして使用いたします。

２．デザイナー紹介

大河原　邦男氏　（有限会社オフィス・ケイ）



【コメント】大河原　邦男氏

１９７２年タツノコプロの科学忍者隊「ガッチャマン」でメカデザインの仕事に巡り合い半世紀以上が経ちました。アニメ作品では列車を含め多くのメカをデザインしてきました。列車が変形してロボットになると言ったデザインを多く経験してきましたが実際の鉄道のプロジェクトに関わるチャンスを頂けたことに感謝をするとともに責任を感じています。多くの皆様に楽しんで頂けるような列車にする為最大の努力で臨みたいと思います。

◇お客さまのお問合せ先
西武鉄道お客さまセンター TEL.０５７０-００５-７１２
音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。
［営業時間 ９:００～１７:００ （１２/３０～１/３ を除く）］

以上